

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第167号 令和4年4月15日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

・令和4年度江別市公立小中学校の教育活動
スタートにあたって

江別市教育委員会教育長 黒 川 淳 司

令和4年度江別市公立小中学校の教育活動スタートにあたって

夢の実現に向けて行動する子ども

江別市教育委員会教育長 黒 川 淳 司

■江別市立の学校職員として

一人一人の教職員は、石狩管内の教職員であることはもちろんですが、江別市立学校の教職員であることを、これまで以上に意識してほしいと思っています。江別市がめざしている子ども像をご存知でしょうか。

「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」です。このことを、どこか遠い理想とか、飾りであるかのように受け取るのではなく、本気でその実現をめざして1年間の取組を進めてほしいと願います。

■江別市のめざす小中一貫教育

中学校卒業時の15歳の春、その姿を小学校の教員と中学校の教員が共通して願う形として描き、それぞれの段階で「本気で」その願いの実現をめざします。

保護者だけでなく先生方も、「何がどう変わるのか?」「何をするのか?」に関心が集中します。その答えは、一言でいえば「指導を一貫する」「指導を系統的にする」に尽きます。学習・生活の規律や指導方法について共通理解に立ち校区の「スタンダード」を定めます。また、小1から中3までの全教科の系統について時間をかけて理解し、それを授業に生かしていくということです。

「合同行事」「乗り入れ授業」「体験登校」といったイベント的な取組が目を見ますが、これだけが先行しても、「小中一貫教育に取り組んでいる」とは言えません。それは「一貫した指導」「系統的な指導」という本質を効果的に高めるためのものであり、めざす姿の到達に向けて、小中学校の教職員が一致して継続的に取り組むことが必要です。

■豊かな人間性

「江別市は教育の質が高く、どこの学校に行ってもはずれがありません。」とは、とある住宅販売メーカーがお客さんに言っている言葉だそうです。実際に子どものいる家庭の転入数は、道内市町村の中で群を抜き、全国で上位に入ります。

その判断材料のひとつに「学力が高い」、「いじめを許さない雰囲気ができている」などがあげられているそうです。これを鵜呑みにはできませんが、このような評判があるとすれば、それは各学校の先生方の努力の賜物です。

一方で、「学力が高い」というのは「豊かな人間性」のたくさんの指標のうちのひとつに過ぎません。豊かな人間性に満ち溢れた子どもは、「善き意思」「思慮知性」「豊かな情

操」「知識・技能」「健康な心や体」を兼ね備えている子どもであると捉えています。

先生方には、全人格的な育成をめざす江別市の学校教育に、これまで以上に自信と誇りを持ち、それぞれの分野での教育活動の充実に向けて努力を積み重ねてほしいと願っています。

■世界の平和を願う子どもと教師

江別市は「平和都市宣言」を行っている道内 13 市のうちのひとつです。国際紛争を解決する手段として武力を用いることは許されないことを、子どもたちと共に考え合い、人間として戦争を許さない心を育みたいと願います。

■コロナ対策と確実な危機管理

令和 4 年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策が必要です。感染拡大防止策について、校内での共通理解と共通行動に丁寧に取り組んでください。自分の命を自分が守ろうとする意識を高めていくことも大切です。

自然災害を始めとして、あらゆる危機管理について管理職に任せるのではなく、一人一人の教職員が自分事としてとらえ、行動し指導にあたっていきましょう。

■合わせて行う教育活動の充実

第一義的に子どもたちの命を守ることが優先されます。同時に、教育活動の充実や学習内容の保障などが求められています。

教育活動充実の手立てのひとつとして GIGA スクール構想の実現があり、先生方の意欲的な取組に心から感謝しています。すでに一つのツールとして多くの実践が行われていますが、今年は、学級閉鎖などの緊急時だけでなく、日常的な持ち帰りもスタートさせる計画です。

先生方のご協力を得て作成した「江別市情報化教育推進ガイドライン」を基にして、「何年生でどこまで指導するのか」を共通理解し、担任間や学校間で大きな差が生じることをないように、系統立てて丁寧に指導してほしいと願います。

また、校内の研究をはじめとして、学校の教育活動に係る評価改善(PDCA)が効果的に回りますように、真摯な取組の推進を心からご期待申し上げます。

■働き方改革

人的な支援こそが各学校の改善につながる最大のものであり、教育委員会として引き続き力を注ぎます。江別市働き方改革推進計画（第 2 期）に基づき、全 25 校の支援に取り組めます。授業をはじめとした教育活動の質を落とさず、むしろ充実させようと努力している皆さんに報いるための方策を、今後も検討してまいります。

令和 4 年度の江別市の教育をよろしく願いいたします。

江別市教育研究所は、教育の理論や実践についての専門的研究を行い、教育の進展と充実を図ることを目的とし、昭和 30 年に設立され、今日に至っています。

令和 4 年度も、「所員」を引き受けていただく 6 名の先生たちの協力を得ながら、「夏期セミナー」などの教職員研修の実施や、児童生徒の意識調査をまとめた「調査研究報告書」の発行、小学校外国語教育の充実に向けた協議会運営に取り組んでまいります。また、教育研究所の活動を「所報」にて随時紹介し、情報提供に努めてまいりたいと思いますので、会員の皆様のご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。